

令和3年度

当初予算案等 説明資料

交 通 局

目 次

I. 交通局所管予算案の概要	1
1. 予算の規模	1
2. 営業路線及び営業キロ	1
3. 業務の予定量	1
4. 重要施策	3
5. 高速鉄道事業会計予算案の総括	10
II. 高速鉄道事業会計予算案の内容	16
1. 収益的収入及び支出	16
2. 資本的収入及び支出	28
3. 経営戦略（財政計画）との比較	34
III. 交通局所管一般会計予算案の内容	38
【参考資料】高速鉄道事業会計財務諸表	40
IV. 交通局組織編成案	45
V. 条例案の概要	46
議案第95号	
福岡市交通事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	

I. 交通局所管予算案の概要

1. 予算の規模

△印減

会計名	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	増減(△)額	伸び率
	千円	千円	千円	%
一般会計	11,212,082	10,138,802	1,073,280	10.6
高速鉄道事業会計	76,343,590	83,058,768	△6,715,178	△8.1

2. 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪浜～福岡空港	13.1	キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端～貝塚	4.7	キロメートル
七隈線(3号線)	橋本～天神南	12.0	キロメートル
計		29.8	キロメートル

3. 業務の予定量

- (1) 車両数 220両(43編成)
- (2) 年間走行キロメートル 18,713,352キロメートル
- (3) 年間輸送人員 117,201,500人
- (4) 一日平均輸送人員 321,100人

○一日平均輸送人員の内訳	3年度	2年度	差引
空港・箱崎線(a)〔乗り継ぎ分含む〕	270,800人	427,000人	△156,200人
七隈線(b)〔乗り継ぎ分含む〕	64,900人	98,500人	△33,600人
乗り継ぎ分(c)	14,600人	24,000人	△9,400人
全線計(a)+(b)-(c)	321,100人	501,500人	△180,400人

(5) 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	11,429,000千円
営業線改良事業	事業費	5,438,433千円

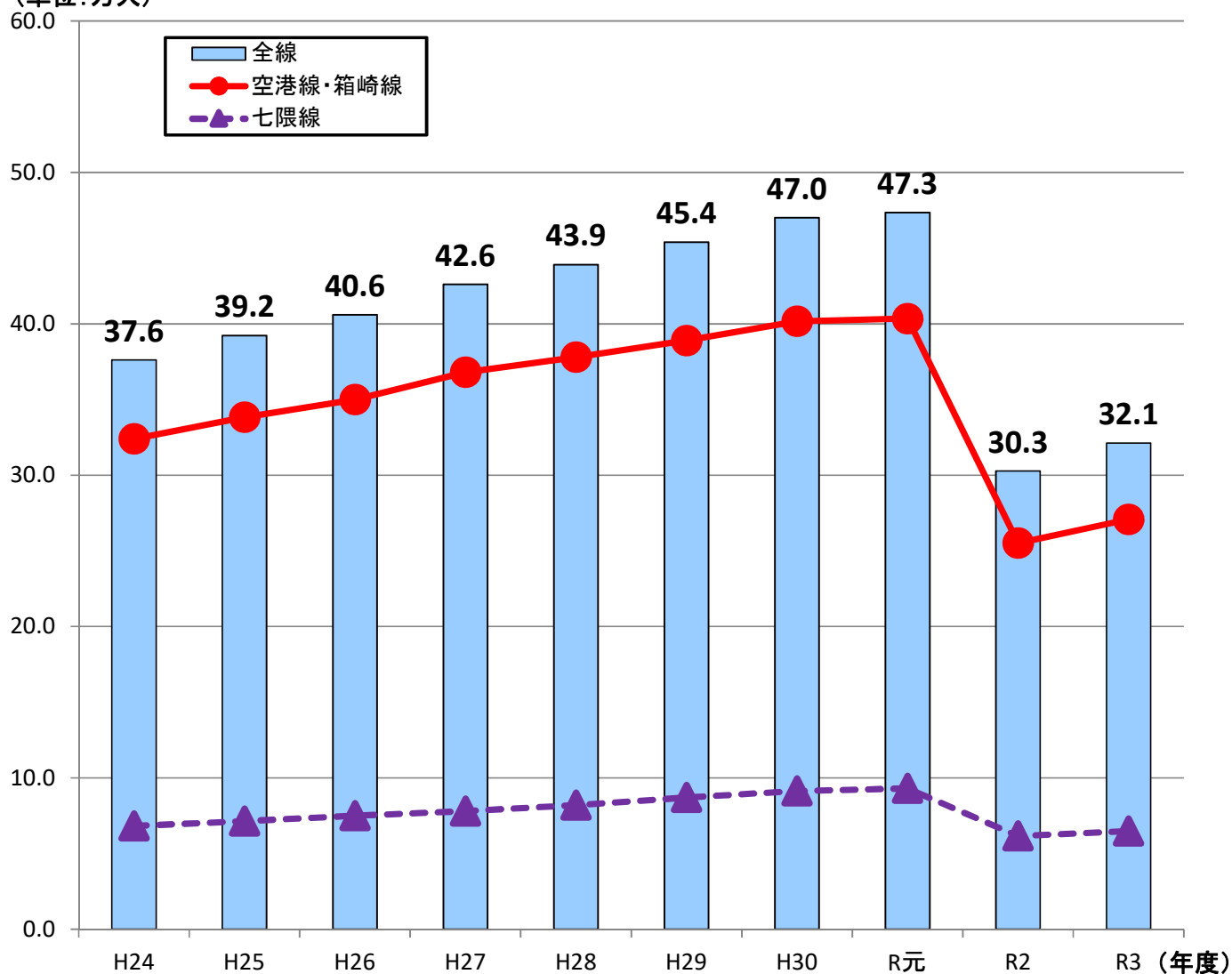
(参考) 1日あたり輸送人員の推移

(単位:人)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度 伸び率
空港線・ 箱崎線(a)	324,021	338,318	349,507	368,449	377,772	389,048	401,621	403,449	255,100	270,800	6.2%
七隈線(b)	68,183	71,437	74,888	77,523	82,386	87,015	91,287	93,065	61,600	64,900	5.4%
乗り継ぎ分(c)	16,189	17,557	18,360	19,521	20,734	21,856	22,906	23,032	13,900	14,600	5.0%
全線計 (a+b+c)	376,015	392,198	406,035	426,451	439,424	454,207	470,002	473,482	302,800	321,100	6.0%

※令和元年度までは決算、令和2年度は2月補正後予算、令和3年度は予算案。

(単位:万人)



4. 重要施策

(1) 七隈線延伸事業の推進

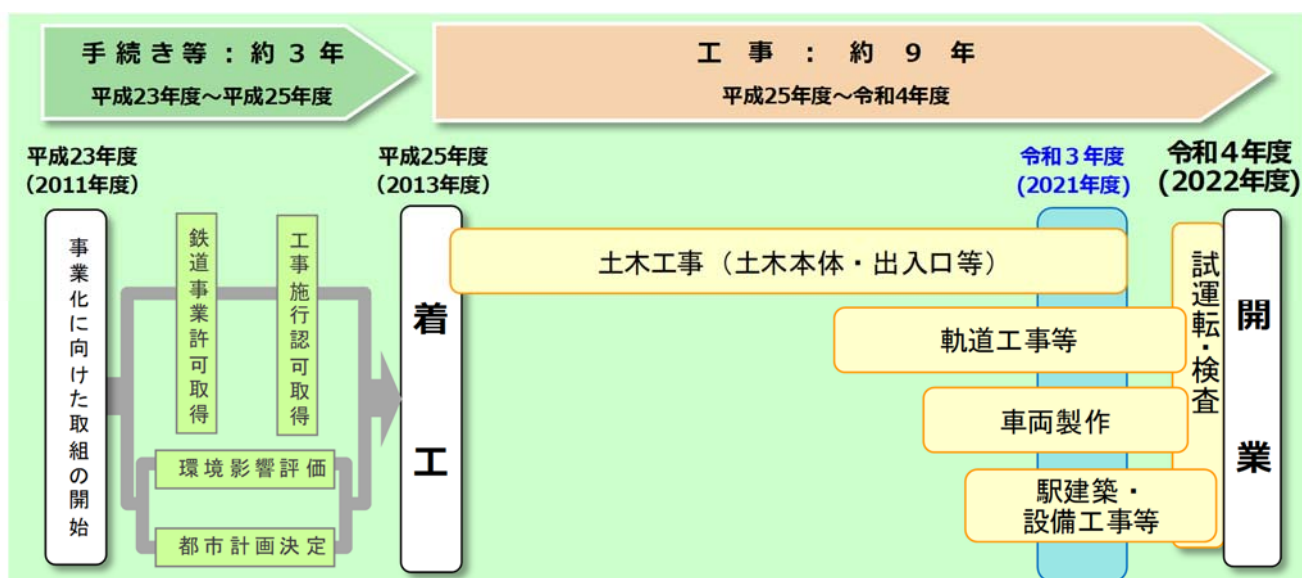
11,429,000 千円

土木工事、軌道工事および車両製作を引き続き推進するとともに、駅建築・設備等に関する工事に本格的に着手し、安全対策に万全を期しながら令和4年度の開業を目指す。

また、事業の進捗状況等の情報を丁寧に分かりやすく発信する。

<事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4 km (営業キロ約1.6 km)
- ◇建設費 約587億円
- ◇開業予定 令和4年度
- ◇利用人数 延伸区間で約8.2万人/日(需要定着後)うち新規利用者数…約2.3万人/日



(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
七隈線延伸事業	11,429,000	7,619,000	3,810,000	<ul style="list-style-type: none"> ・土木本体工事 ・軌道工事 ・3000系車両製作 (搬入・既設区間での試運転) ・駅建築・設備工事等
総事業費:約587億円(事業期間:平成24年度～令和4年度) 実績額:27,606,557千円 令和元年度繰越額:5,909,779千円				

(2) 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

ア 施設、車両などの安全性の確保

2,226,276 千円

トンネルなどの土木構造物について、長期的な補修計画に基づき改良工事を実施するとともに、自動列車制御装置（ATC）や七隈線運行管理システムなどを計画的に更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組む。

また、車両については、2000系車両の大規模な改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、快適性や安全性を向上させるとともに、製造後40年を迎える1000N系車両更新のため、新造車両を発注する。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業を推進する。

イ 災害対策などの強化

54,004 千円

局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、施設の浸水対策を強化する。

また、駅や車両などにおける消毒の実施やマスクアンドライドの推進など、新型コロナウイルス感染症予防対策に継続して取り組む。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア 施設、車両などの安全性の確保	2,226,276	1,824,142	402,134	
土木構造物改良工事	212,503	199,978	12,525	トンネル断面修復 等
総事業費：1,869百万円（事業期間：平成25年度～令和4年度） 実績額：1,320,154千円				
姪浜駅リニューアル	84,746	101,470	△16,724	外壁改修工事
総事業費：399百万円（事業期間：平成27年度～令和4年度） 実績額：178,242千円				
自動列車制御装置(ATC)更新	19,349	369,683	△350,334	対象駅：貝塚駅(7駅中7駅目)
総事業費：3,396百万円（事業期間：平成18年度～令和4年度） 実績額：2,598,637千円				
電力遠制装置更新	356,763	-	356,763	七隈線延伸事業に伴う機器の新設・改良、主要機器の更新 等(再掲額を含む)
総事業費：702百万円（事業期間：令和2年度～令和4年度）				
七隈線運行管理システム更新	429,462	-	429,462	七隈線延伸事業に伴う機器の新設・改良、主要機器の更新 等(再掲額を含む)
総事業費：801百万円（事業期間：令和2年度～令和4年度）				
2000系車両大規模改修	613,810	606,080	7,730	車体の補修、主要機器の更新 等
総事業費：2,704百万円（事業期間：平成30年度～令和5年度） 実績額：300,585千円 令和元年度繰越額：70,540千円				
3000系車両列車制御装置更新	509,643	194,480	315,163	自動列車制御装置、自動列車運転装置の更新 等
総事業費：2,457百万円（事業期間：平成30年度～令和7年度） 令和元年度繰越額：191,160千円				
姪浜車両基地大規模改修	-	352,451	△352,451	管理棟大規模改修工事 等
総事業費：1,469百万円（事業期間：平成30年度～令和6年度） 実績額：57,605千円 令和元年度繰越額：13,000千円				
イ 災害対策等の強化	54,004	20,120	33,884	
浸水対策事業	15,749	20,120	△4,371	施設の浸水対策改良工事
新型コロナウイルス感染症対策	38,255	-	38,255	駅や車両の消毒、マスクアンドライドの推進、お客様用消毒液の全駅配置 等
計	2,280,280	1,844,262	436,018	

(3) 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、超高齢社会に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

ア みんなが使いやすい環境づくり 197,714 千円

駅バリアフリールートの充実及び観光客などの移動円滑化の推進を図るため、博多駅筑紫口及び天神駅東口において、ホーム階からコンコース階までのエレベーター設置工事を実施する。

イ 快適・便利な環境づくり 89,024 千円

お客様に気持ち良く快適にご利用いただくため、乗車マナー向上に関する取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善する。

また、七隈線博多駅（仮称）及び中間駅（仮称）において、開業後のお客様のより安全な乗降を確保するため、ホームドアに3Dセンサーを導入する。

ウ 超高齢社会に対応したサービスの提供 10,148 千円

さらなる高齢化に対応するため、駅トイレの洋式化を推進する。

エ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供 74,949 千円

福岡市を訪れる国内外からのお客様が安心して快適に利用できるよう、地下鉄駅コンシェルジュを博多駅に引き続き配置するとともに、地下鉄車内や駅の案内サインについて、外国語表記を含め、より分かりやすい案内表示に改修する。

あわせて、駅トイレの洋式化を推進する。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア みんなが使いやすい環境づくり	197,714	316,279	△118,565	
駅バリアフリールート の充実(昇降機増設)	197,714	316,279	△118,565	博多駅筑紫口エレベーター設置工事、 天神駅東口エレベーター設置工事
イ 快適・便利な環境づくり	89,024	311,294	△222,270	
乗車マナーの向上	55,818	62,075	△6,257	乗車マナー向上キャンペーン、エスカレー ター音声案内装置設置 等
混雑の緩和	423	32,965	△32,542	車内混雑状況駅掲示費用(再掲額)
より安全な乗降の確保	2,192	121,491	△119,299	七隈線新駅ホームドア3Dセンサー導入、 車内自動放送文変更
駅空調の改善	30,591	94,763	△64,172	空調設備の改善(七隈線)
ウ 超高齢社会に対応したサービスの提供	10,148	19,989	△9,841	
駅施設の改良	10,148	19,989	△9,841	トイレ洋式化
エ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供	74,949	82,296	△7,347	
インバウンド対策	74,949	82,296	△7,347	駅案内サインの外国語表記、地下鉄駅コ ンシェルジュ、トイレ洋式化 等 (再掲額を含む)
計	371,835	729,858	△358,023	

(4) まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、総合交通体系構築の観点から他の交通機関との連携強化に取り組むほか、省エネの推進など環境対策に関する取組みを推進する。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 233,178 千円

天神駅東口において、エレベーター設置工事を実施し、さらなるバリアフリー経路の充実を図るとともに、賑わいスペースの供用を開始するなど、駅のリニューアルに取り組む。

また、博多駅筑紫口においても、エレベーター設置工事の実施や、新たな店舗区画の創出など、お客様にとってより使いやすい駅となるようリニューアルに取り組む。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 32,275 千円

駅ごとの近隣の街並みや地域の歴史、観光資源などの特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組むことにより、各駅の個性化・活性化を図るとともに、各駅の魅力を効果的に発信する。

また、世界水泳選手権大会の気運醸成に向けて、記念乗車券販売や車体広告などにより大会のPRを行うとともに、福岡市を訪れる国内外からのお客様が安心して快適に利用できるよう、駅案内サインなどを改修する。

ウ 環境対策に関する取組み 294,187 千円

省エネの取組みとして、駅施設やトンネル内の照明のLED化を計画的に実施し、消費エネルギーの削減に取り組む。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア 沿線まちづくりに対応した 駅施設の改良など	233,178	538,410	△305,232	
天神駅東口リニューアル事業	81,900	508,210	△426,310	天神駅東口エレベーター設置工事 (再掲額)
総事業費：795 百万円（事業期間：平成 29 年度～令和 3 年度） 実績額：136,749 千円 令和元年度繰越額：67,763 千円				
博多駅筑紫口リニューアル 事業	151,278	30,200	121,078	博多駅筑紫口エレベーター設置工事、 利便施設改良工事 等(再掲額を含む)
総事業費：267 百万円（事業期間：令和元年度～令和 5 年度） 実績額：5,321 千円				
イ 沿線の地域、イベント、施設 などとの連携	32,275	33,605	△1,330	
駅の魅力づくり	7,651	8,981	△1,330	副駅名の設定、装飾 等
世界水泳選手権大会の 気運醸成	24,624	24,624	-	記念乗車券販売、車体広告、案内サイン の改修 等(再掲額を含む)
ウ 環境対策に関する取組み	294,187	221,538	72,649	
駅照明等のLED化改良工事	294,187	221,538	72,649	博多駅、貝塚駅、トンネル内(唐人町～ 中洲川端間)の照明
総事業費：1,539 百万円（事業期間：平成 23 年度～令和 5 年度） 実績額：869,018 千円				
合計	559,640	793,553	△233,913	

(5) 経営基盤の強化

経営基盤を強化するため、データ分析に基づく戦略的な営業施策の推進、広告・構内営業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組むとともに、安全性の確保を最優先に、施設・車両等のライフサイクルコストの最小化と投資の平準化を図るアセットマネジメントや経営の効率化を推進する。

また、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組む。

ア 戦略的な営業施策の推進

4,015 千円

新型コロナウイルス感染症の影響による「新しい生活様式」の定着など、今後の地下鉄を取り巻く様々な環境の変化に対応するため、各種営業データの分析を通して地下鉄利用者の現状把握に努めるとともに、延伸開業をにらんだ新たな施策の検討を行う。

イ 人材確保と育成

19,546 千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の充実に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進する。

ウ 地下鉄開業40周年に関する取組み

6,647 千円

地下鉄開業40周年を記念した事業を企画し、お客様や関係者への感謝の気持ちを表すとともに、誰もが使いやすく環境にやさしい地下鉄の利用促進に取り組む。

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和2年度	比較増減	備考
ア 戦略的な営業施策の推進	4,015	4,367	△352	
営業データの分析・活用	4,015	4,367	△352	各種営業データの分析を通じた新たな施策の検討 等
イ 人材確保と育成	19,546	21,485	△1,939	
安全・安心を支える人材の育成	19,546	21,485	△1,939	基本研修、派遣研修、資格取得支援 等
ウ 地下鉄開業40周年に関する取組み	6,647	-	6,647	
地下鉄40周年記念事業	6,647	-	6,647	地下鉄開業40周年記念イベント、掲示物の制作 等
合計	30,208	25,852	4,356	

5. 高速鉄道事業会計予算案の総括

(1) 収益的収入及び支出

款	項	令和3年度	令和2年度
高速 鉄道 事業 収益	1. 営業収益	千円 23,990,130	千円 36,456,693
	2. 営業外収益	4,922,941	5,158,511
	3. 特別利益	325,546	30,012
	収入計	29,238,617	41,645,216
高速 鉄道 事業 費用	1. 営業費用	27,191,483	28,702,151
	2. 営業外費用	2,932,152	4,641,998
	3. 特別損失	224,953	2,975
	4. 予備費	10,000	10,000
	支出計	30,358,588	33,357,124
収入支出差引		△ 1,119,971	8,288,092

※新型コロナウイルス感染症の影響による減収を補てんするため、企業債（特別減収対策）8,052,000千円を借り入れる。

○損益（消費税要素除く）

2年度末累積損益	△ 114,095,899 千円
3年度（単年度）損益	△ 2,040,523 千円
3年度末累積損益	△ 116,136,422 千円

比 較		備 考
金 額	伸び率	
千円 △ 12,466,563	% △ 34.2	○主な増減 1. 営業収益 乗車料収入 △ 12,231,401千円 (参考) 令和2年度2月補正後予算との比較 乗車料収入 1,945,323千円 2. 営業外収益 一般会計補助金 124,672千円 長期前受金戻入 △ 360,242千円 3. 特別利益 固定資産売却益 19,638千円 その他特別利益 275,896千円
△ 235,570	△ 4.6	
295,534	984.7	
△ 12,406,599	△ 29.8	
△ 1,510,668	△ 5.3	○主な増減 1. 営業費用 給与費 △ 115,854千円 経費 △ 487,845千円 減価償却費等 △ 906,969千円 2. 営業外費用 支払利息及び企業債取扱諸費 △ 281,165千円 消費税(納付額) △ 1,428,681千円 3. 特別損失 固定資産売却損 △ 2,938千円 その他特別損失 224,916千円
△ 1,709,846	△ 36.8	
221,978	著増	
-	-	
△ 2,998,536	△ 9.0	
△ 9,408,063	-	

(2) 資本的収入及び支出

款	項	令和3年度	令和2年度
資 本 的 収 入	1. 企 業 債	千円 19,394,000	千円 16,191,000
	2. 出 資 金	3,308,257	2,500,000
	3. 補 助 金	7,621,559	7,157,563
	4. 雑 収 入	362,162	151,267
入	収 入 計	30,685,978	25,999,830
資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	16,867,433	12,626,792
	2. 企 業 債 償 還 金	28,929,061	28,786,760
	3. 補 助 金 返 還 金	188,508	-
出	支 出 計	45,985,002	41,413,552
収入支出差引		△ 15,299,024	△ 15,413,722

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額15,299,024千円は、損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

○資金過不足額

2年度末累積資金過不足額	△ 4,293,295 千円
3年度(単年度)資金過不足額	△ 8,052,067 千円
特別減収対策企業債発行額	8,052,000 千円
3年度末累積資金過不足額	△ 4,293,362 千円

比 較		備 考
金 額	伸び率	
千円 3,203,000	% 19.8	○主な増減 1. 企業債 建設改良費充当債 2,831,000千円 借換債 450,000千円 高速鉄道事業特例債 △ 78,000千円
808,257	32.3	2. 出資金 一般会計出資金 808,257千円
463,996	6.5	3. 補助金 国庫補助金 203,747千円 一般会計補助金 260,249千円
210,895	139.4	4. 雑収入 負担金収入 205,487千円 雑収入 5,408千円
4,686,148	18.0	
4,240,641	33.6	○主な増減 1. 建設改良費 七隈線延伸事業 3,810,000千円 営業線改良事業 430,641千円
142,301	0.5	2. 企業債償還金 建設改良費充当債 1,785,810千円 借換債 450,000千円 高速鉄道事業特例債 172,800千円 資本費平準化債 △ 725,000千円 資本費負担緩和債 △ 1,541,309千円
188,508	皆増	3. 補助金返還金 国庫補助金返還金 62,426千円 一般会計補助金返還金 126,082千円
4,571,450	11.0	
114,698	—	

(3) 債務負担行為（令和3年度提出に係る分）

事 項	期 間	限 度 額
営 業 線 修 繕 事 業 （土木構造物改良工事等）	令 和 4 年 度	262,000 千円
七 隈 線 延 伸 事 業 （通信設備工事等）	令 和 4 年 度	2,650,000 千円
営 業 線 改 良 事 業 （1000N系車両更新事業等）	令和4年度から 令和9年度まで	令和4年度以降 30,348,000 千円

(4) 企 業 債
起 債 限 度 額 17,261,000 千円

(5) 一 時 借 入 金
借 入 限 度 額 20,000,000 千円

(6) 予定支出の各項の経費の金額の流用

予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、「消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間の流用」とする。

(7) 他会計からの補助金
一 般 会 計 補 助 金 7,407,858 千円

(8) たな卸資産購入限度額 379,000 千円

Ⅱ. 高速鉄道事業会計予算案の内容

1. 収益的収入及び支出

(収入)

科 目	令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
			金額 A-B	率 A/B
1. 高速鉄道事業収益	千円 29,238,617	千円 41,645,216	千円 △ 12,406,599	% 70.2
1. 営業収益	23,990,130	36,456,693	△ 12,466,563	65.8
1. 運輸収益	21,853,343	34,084,744	△ 12,231,401	64.1
2. 運輸雑収益	2,136,787	2,371,949	△ 235,162	90.1

説 明	明		
	3 年 度	2 年 度	増 減
旅客運輸収益 (千円)	21,853,343	34,084,744	△ 12,231,401
一日平均輸送人員 (人)	321,100	501,500	△ 180,400
営業日数 (日)	365	365	-
年間輸送人員 (人)	117,201,500	183,047,500	△ 65,846,000
一日当り運輸収益 (千円)	59,872	93,383	△ 33,511
定 期 率 (%)	56.5	47.8	8.7
			千円
1. 広告料	965,117	1,235,749	△ 270,632
電照・パネル・デジタルサイネージ等駅構内広告、 ドア横・ステッカー類・中吊等列車内広告等			
2. 土地物件賃貸料	896,475	854,490	41,985
コンビニ等店舗、自動販売機、コインロッカー、 トンネル内通信ケーブル、駐車場用地等			
3. 駅共同使用料	39,741	42,248	△ 2,507
姪浜駅出改札・清掃業務等、貝塚駅清掃業務等			
4. 雑収益等	235,454	239,462	△ 4,008
構内営業関連光熱水費、車両使用料等			

科	目	令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
				金額 A - B	率 A/B
	2. 営 業 外 収 益	千円 4,922,941	千円 5,158,511	千円 △ 235,570	% 95.4
	1. 受 取 利 息 及 び 配 当 金	100	100	-	100.0
	2. 一 般 会 計 補 助 金	1,808,879	1,684,207	124,672	107.4
	3. 長 期 前 受 金 戻 入	3,113,862	3,474,104	△ 360,242	89.6
	4. 雑 収 益	100	100	-	100.0
	3. 特 別 利 益	325,546	30,012	295,534	著増
	1. 固 定 資 産 売 却 益	34,650	15,012	19,638	230.8
	2. そ の 他 特 別 利 益	290,896	15,000	275,896	著増

説 明	千円		
	3年度	2年度	増減
銀行預金利息			
1. 高速鉄道事業特例債元利補助金	994,894	822,491	172,403
2. 地下鉄緊急整備事業特別債利子補助金	582,840	644,999	△ 62,159
3. 基礎年金拠出金等補助金	197,567	203,570	△ 6,003
4. 特別減収対策企業債利子補助金	22,588	-	22,588
5. 補正予算債利子補助金	7,245	7,996	△ 751
6. 祇園・博多間連絡通路整備等補助金	3,745	5,151	△ 1,406
過去に受け入れた国庫補助金等の当年度減価償却費見合の収益化額			
六本松駅自転車駐車場用地売却に伴う売却益			
一般財団法人福岡市交通事業振興会解散に伴う残余財産受入			

(支 出)

科 目	令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
			金額 A-B	率 A/B
1. 高 速 鉄 道 事 業 費 用	千円 30,358,588	千円 33,357,124	千円 △ 2,998,536	% 91.0
1. 営 業 費 用	27,191,483	28,702,151	△ 1,510,668	94.7
1. 線 路 保 存 費	2,690,151	2,804,362	△ 114,211	95.9
2. 電 路 保 存 費	2,057,534	2,296,256	△ 238,722	89.6

説 明	千円		
	3年度	2年度	増減
線路施設等の維持補修に要する経費			
1. 給与費 (46人) 給料、手当、法定福利費等	345,940	350,509	△ 4,569
2. 経 費	2,344,211	2,453,853	△ 109,642
○ 保守費 諸構築物及び諸設備、軌道、建物保守点検等	(1,677,611)	(1,681,883)	(△ 4,272)
○ 光熱水費 トンネル及び駅部照明電気料等	(475,180)	(500,111)	(△ 24,931)
○ 賃借料 トンネル用地及び換気所用地等	(78,179)	(73,684)	(4,495)
○ 固定資産除却費 博多駅筑紫口昇降機等	(59,618)	(108,975)	(△ 49,357)
○ その他の経費 汚水槽点検清掃業務委託等	(53,623)	(89,200)	(△ 35,577)
電路施設の維持補修に要する経費			
1. 給与費 (50人) 給料、手当、法定福利費等	360,519	367,774	△ 7,255
2. 経 費	1,697,015	1,928,482	△ 231,467
○ 保守費 信号設備、通信設備、電力線設備、 変電所設備保守点検等	(1,506,809)	(1,626,077)	(△ 119,268)
○ 光熱水費 電気室、信号通信設備、変電所設備電気料等	(100,445)	(105,842)	(△ 5,397)
○ 固定資産除却費 設備管理システム改良等	(68,721)	(168,108)	(△ 99,387)
○ その他の経費 備用品費等	(21,040)	(28,455)	(△ 7,415)

科 目		令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
				金額 A - B	率 A/B
		千円	千円	千円	%
	3. 車 両 保 存 費	2,381,407	2,330,260	51,147	102.2
	4. 運 転 費	2,433,899	2,472,358	△ 38,459	98.4
	5. 運 輸 管 理 費	1,954,951	2,194,059	△ 239,108	89.1

説 明	千円		
	3年度	2年度	増減
車両及び車両基地の維持補修に要する経費			
1. 給与費 (43人) 給料、手当、法定福利費等	318,815	329,279	△ 10,464
2. 経費	2,062,592	2,000,981	61,611
○ 保守費 車両検査、検修機械設備保守等	(1,717,817)	(1,693,329)	(24,488)
○ 委託料 車両清掃費、車両基地警備等	(207,706)	(172,935)	(34,771)
○ 固定資産除却費 2000系車両大規模改修等	(59,918)	(57,423)	(2,495)
○ その他の経費 光熱水費等	(77,151)	(77,294)	△ 143
車両の運転に要する経費			
1. 給与費 (220人) 給料、手当、法定福利費等	1,612,562	1,644,051	△ 31,489
2. 経費	821,337	828,307	△ 6,970
○ 動力費 車両運転用	(717,038)	(735,844)	△ 18,806
○ 委託料 合同事務所警備、清掃等	(30,932)	(26,775)	(4,157)
○ 光熱水費 合同事務所・運輸指令電気料等	(23,285)	(24,247)	△ 962
○ その他の経費 賃借料等	(50,082)	(41,441)	(8,641)
運転及び運輸の管理事務に要する経費			
1. 給与費 (56人) 給料、手当、法定福利費等	428,182	428,264	△ 82
2. 経費	1,526,769	1,765,795	△ 239,026
○ 委託料 駅構内清掃、広告業務、 お客様サービスセンター業務等	(1,026,067)	(1,134,949)	△ 108,882
○ ICカードポイント費	(217,151)	(273,559)	△ 56,408
○ 乗車券・帳表類	(100,949)	(121,141)	△ 20,192
○ その他の経費 クレジットカード・電子マネー決済手数料等	(182,602)	(236,146)	△ 53,544

科 目		令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
				金額 A - B	率 A/B
		千円	千円	千円	%
	6. 運 輸 費	3,393,955	3,453,483	△ 59,528	98.3
	7. 研 修 所 費	57,526	59,601	△ 2,075	96.5
	8. 一 般 管 理 費	902,962	1,045,691	△ 142,729	86.4
	9. 減 価 償 却 費	11,319,098	12,046,081	△ 726,983	94.0

説 明	千円		
	3 年度	2 年度	増減
駅務等に要する経費			
1. 給与費 (155人) 給料、手当、法定福利費等	1,311,595	1,326,137	△ 14,542
2. 経 費	2,082,360	2,127,346	△ 44,986
○ 委託料 駅業務委託等	(1,201,334)	(1,225,413)	(△ 24,079)
○ 保守費 出改札設備保守点検等	(426,348)	(410,275)	(16,073)
○ 光熱水費 出改札設備等電気料、駅上・中・下水道料等	(378,343)	(401,910)	(△ 23,567)
○ その他の経費 固定資産除却費 (窓口処理機更新等) 等	(76,335)	(89,748)	(△ 13,413)
教習所の維持運営に要する経費			
1. 給与費 (5人) 給料、手当、法定福利費等	44,996	46,475	△ 1,479
2. 経 費	12,530	13,126	△ 596
○ 研修旅費	(4,677)	(5,314)	(△ 637)
○ その他の経費 光熱水費等	(7,853)	(7,812)	(41)
一般管理に要する経費			
1. 給与費 (59人) 給料、手当、法定福利費等	700,806	746,780	△ 45,974
2. 経 費	202,156	298,911	△ 96,755
○ 庁舎管理経費	(61,987)	(56,818)	(5,169)
○ 事務用システム管理経費	(46,798)	(42,752)	(4,046)
○ その他の経費 電子入札導入事業等負担金等	(93,371)	(199,341)	(△ 105,970)
固定資産の減価償却費			
1. 有形固定資産減価償却費	11,286,582	12,025,894	△ 739,312
2. 無形固定資産減価償却費	32,516	20,187	12,329

科 目	令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
			金額 A-B	率 A/B
2. 営 業 外 費 用	千円 2,932,152	千円 4,641,998	千円 △ 1,709,846	% 63.2
1. 支 払 利 息 及 び 企 業 債 費 取 扱 諸 費	2,592,809	2,873,974	△ 281,165	90.2
2. 消 費 税	338,343	1,767,024	△ 1,428,681	19.1
3. 雑 支 出	1,000	1,000	-	100.0
3. 特 別 損 失	224,953	2,975	221,978	著増
1. 固 定 資 産 損 売 却	37	2,975	△ 2,938	1.2
2. そ の 他 損 失 特 別	224,916	-	224,916	皆増
4. 予 備 費	10,000	10,000	-	100.0
1. 予 備 費	10,000	10,000	-	100.0

(参考) 退職給付引当金の活用について

	令和3年度 A	令和2年度 B	比 較	
			金額 A-B	率 A/B
退職給付引当金取り崩し額	千円 250,890	千円 470,783	千円 △ 219,893	% 53.3

説 明			
	3 年度	2 年度	千円 増減
1. 企業債利息	2,495,881	2,833,355	△ 337,474
2. 企業債取扱諸費	86,928	39,619	47,309
3. 一時借入金利息	10,000	1,000	9,000
消費税納付額			
庁用車の売却に伴う売却損			
1. 土地等処分に伴う国庫補助金返還金	144,286	-	144,286
2. 土地等処分に伴う一般会計補助金返還金	80,630	-	80,630

説 明	
令和3年度退職予定者12人分	

2. 資本的収入及び支出
(収入)

科 目	令和3年度 予算額 A	令和2年度 予算額 B	比 較	
			金額 A-B	率 A/B
1. 資本的収入	千円 30,685,978	千円 25,999,830	千円 4,686,148	% 118.0
1. 企業債	19,394,000	16,191,000	3,203,000	119.8
1. 企業債	19,394,000	16,191,000	3,203,000	119.8
2. 出資金	3,308,257	2,500,000	808,257	132.3
1. 一般会計 出資金	3,308,257	2,500,000	808,257	132.3
3. 補助金	7,621,559	7,157,563	463,996	106.5
1. 国庫補助金	2,022,580	1,818,833	203,747	111.2
2. 一般会計 補助金	5,598,979	5,338,730	260,249	104.9
4. 雑収入	362,162	151,267	210,895	239.4
1. 負担金収入	286,807	81,320	205,487	352.7
2. 雑収入	75,355	69,947	5,408	107.7

説 明	千円		
	3 年度	2 年度	増減
1. 建設改良費充当債	8,909,000	6,078,000	2,831,000
2. 高速鉄道事業特例債	300,000	378,000	△ 78,000
3. 借換債	10,185,000	9,735,000	450,000
建設改良費に対する出資金			
1. 高速鉄道整備事業費補助金	2,019,000	1,813,000	206,000
2. 観光振興事業費補助金	3,580	5,833	△ 2,253
1. 地下鉄緊急整備事業特別債元金補助金	3,218,530	3,156,371	62,159
2. 高速鉄道整備事業費補助金	2,245,000	2,015,000	230,000
3. 観光客等の移動円滑化施策の推進に係る補助金	59,315	93,382	△ 34,067
4. 補正予算債元金補助金	38,428	37,677	751
5. 祇園・博多間連絡通路整備等補助金	37,706	36,300	1,406
1. 七隈線延伸事業に伴う工事負担金収入	184,000	69,000	115,000
2. 福祉 I C チャージ機更新等に係る負担金収入	102,807	12,320	90,487
1. 六本松駅自転車駐車場用地売却収入（簿価相当額）	65,349	58,988	6,361
2. 一般財団法人福岡市交通事業振興会解散に伴う出資金返還金	10,000	-	10,000
3. 庁用車等売却収入	6	160	△ 154
▲ その他雑収入	-	10,799	△ 10,799

(支 出)

科 目	令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
			金額 A-B	率 A/B
1. 資 本 的 支 出	千円 45,985,002	千円 41,413,552	千円 4,571,450	% 111.0
1. 建 設 改 良 費	16,867,433	12,626,792	4,240,641	133.6
1. 建 物 費	4,121,245	3,490,095	631,150	118.1
2. 線 路 設 備 費	4,361,000	4,879,000	△ 518,000	89.4
3. 電 路 設 備 費	1,516,436	1,720,719	△ 204,283	88.1
4. 車 両 費	3,719,674	807,869	2,911,805	460.4

説 明	千円		
	3年度	2年度	増減
1. 七隈線延伸事業駅建築等	3,163,000	1,456,000	1,707,000
2. 駅照明設備改良	242,697	172,337	70,360
3. エスカレーターリニューアル	153,242	62,600	90,642
4. 博多駅筑紫口リニューアル	112,883	28,450	84,433
5. 姪浜駅リニューアル	84,746	101,470	△ 16,724
6. 天神駅東口リニューアル	81,900	467,738	△ 385,838
7. その他（駅防災盤更新等）	282,777	1,201,500	△ 918,723
七隈線延伸事業土木工事等	4,361,000	4,879,000	△ 518,000
1. 七隈線延伸事業電気設備設置等	477,000	580,000	△ 103,000
2. 集中電話システム中央制御装置更新	266,420	-	266,420
3. 七隈線自動放送システム更新	187,000	-	187,000
4. 姪浜車両基地・天神駅電気室配電設備更新	131,417	-	131,417
5. 列車集中制御装置更新	111,100	-	111,100
6. その他（七隈線 I T Vカメラ更新等）	343,499	1,140,719	△ 797,220
1. 七隈延伸事業車両製作等	2,529,000	-	2,529,000
2. 2000系車両大規模改修	613,810	540,080	73,730
3. 3000系車両列車制御装置更新	316,263	194,480	121,783
4. 七隈線列車無線更新	257,775	68,959	188,816
5. その他（JR防護無線装置購入等）	2,826	4,350	△ 1,524

科 目		令和3年度 予 算 額 A	令和2年度 予 算 額 B	比 較	
				金額 A-B	率 A/B
		千円	千円	千円	%
	5. 機 械 装 置 費	2,375,050	951,300	1,423,750	249.7
	6. 建 設 諸 費	670,263	683,170	△ 12,907	98.1
	7. リース資産 購 入 費	35,765	39,639	△ 3,874	90.2
	8. 建 設 利 息	63,000	55,000	8,000	114.5
	9. 諸 権 利 費	5,000	-	5,000	皆増
	2. 企 業 債 償 還 金	28,929,061	28,786,760	142,301	100.5
	1. 企 業 債 償 還 金	28,929,061	28,786,760	142,301	100.5
	3. 補 助 金 返 還 金	188,508	-	188,508	皆増
	1. 国 庫 補 助 金 返 還 金	62,426	-	62,426	皆増
	2. 一 般 会 計 補 助 返 還 金	126,082	-	126,082	皆増

説 明	千円		
	3年度	2年度	増減
1. 七隈線延伸事業機械設備設置等	425,000	227,000	198,000
2. 七隈線列車無線更新	420,249	182,017	238,232
3. 七隈線運行管理システム更新	343,134	-	343,134
4. 電力遠制装置更新	317,977	-	317,977
5. 窓口処理機更新	245,436	42,716	202,720
6. その他（3000系車両に係る試験装置更新等）	623,254	499,567	123,687
1. 給与費（77人）	625,520	603,560	21,960
2. 事務費	44,743	79,610	△ 34,867
リース資産の取得に係る経費			
七隈線延伸事業に係る企業債利息			
区分地上権設定に係る調査等			
1. 建設改良費充当債元金償還金	12,344,440	10,558,630	1,785,810
2. 資本費負担緩和債元金償還金	2,681,210	4,222,519	△ 1,541,309
3. 資本費平準化債元金償還金	2,728,311	3,453,311	△ 725,000
4. 高速鉄道事業特例債元金償還金	990,100	817,300	172,800
5. 借換えによる元金償還金	10,185,000	9,735,000	450,000
土地等処分に伴う国庫補助金返還金（資本剰余金相当額）			
土地等処分に伴う一般会計補助金返還金（資本剰余金相当額）			

3. 経営戦略（財政計画）との比較

(消費税抜、単位：人、百万円)

区分	年度	輸送人員 (1日当り)	収 益 的 収 支				単年度損益	累積損益
			収 入			支 出		
			乗車料	その他	計			
財政 計 画	元年度	483,000	29,591	8,035	37,626	31,281	6,345	△ 111,014
	2年度	494,194	30,195	7,263	37,458	29,801	7,657	△ 103,357
	3年度	504,158	30,804	7,115	37,919	28,897	9,022	△ 94,335
	4年度	512,633	31,325	6,734	38,059	28,746	9,313	△ 85,022
	5年度	532,958	32,694	7,074	39,768	30,622	9,146	△ 75,876

(消費税抜、単位：人、百万円)

区分	年度	輸送人員 (1日当り)	収 益 的 収 支				単年度損益	累積損益
			収 入			支 出		
			乗車料	その他	計			
実績 及び 計 画	元年度 決算	473,482	28,994	8,431	37,425	30,245	7,180	△ 109,485
	2年度 最終予算	302,800	18,120	7,454	25,574	30,185	△ 4,611	△ 114,096
	3年度 予算案	321,100	19,892	7,201	27,093	29,133	△ 2,040	△ 116,136
	4年度 計 画	512,633	31,325	6,734	38,059	28,746	9,313	△ 106,823
	5年度 計 画	532,958	32,694	7,074	39,768	30,622	9,146	△ 97,677
(3年度予算案) (3年度計画) 差 引	△ 183,058	△ 10,912	86	△ 10,826	236	△ 11,062	△ 21,801	

※ 「補てん財源」とは、収益的収支において現金の支出を必要としない減価償却費等の費用を計上していることなどにより企業内部に留保された資金で、これにより企業債の償還などによって生じる資本的収支不足額を補てんするもの。

(消費税込、単位：百万円) (単位：百万円)

資 本 的 収 支			補てん財源※		単年度資金 過不足額	特別減収 対策 企業債 発行額	累積資金 過不足額	企業債 残 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度 損益				
31,022	44,997	△ 13,975	9,070	6,345	1,440		△ 5,621	233,910
26,693	42,048	△ 15,355	8,889	7,657	1,191		△ 4,430	221,507
28,759	43,205	△ 14,446	8,953	9,022	3,529		△ 901	213,567
28,653	40,863	△ 12,210	8,937	9,313	6,040		5,139	206,722
16,478	31,889	△ 15,411	10,126	9,146	3,861		9,000	194,297

(消費税込、単位：百万円) (単位：百万円)

資 本 的 収 支			補てん財源※		単年度資金 過不足額	特別減収 対策 企業債 発行額	累積資金 過不足額	企業債 残 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度 損益				
29,471	43,470	△ 13,999	8,864	7,180	2,045		△ 4,293	231,504
32,869	47,984	△ 15,115	9,220	△ 4,611	△ 10,506	10,506	△ 4,293	231,441
30,686	45,985	△ 15,299	9,287	△ 2,040	△ 8,052	8,052	△ 4,293	229,957
28,653	40,863	△ 12,210	8,937	9,313	6,040		1,747	223,112
16,478	31,889	△ 15,411	10,126	9,146	3,861		5,608	210,687
1,927	2,780	△ 853	334	△ 11,062	△ 11,581	8,052	△ 3,392	16,390

注1) 2年度最終予算の資本的収支には、元年度からの繰越額を含む。

注2) 2年度最終予算及び3年度予算案では、新型コロナウイルス感染症による減収を補てんするため、企業債(特別減収対策)を借り入れる。

(参考) 経営状況

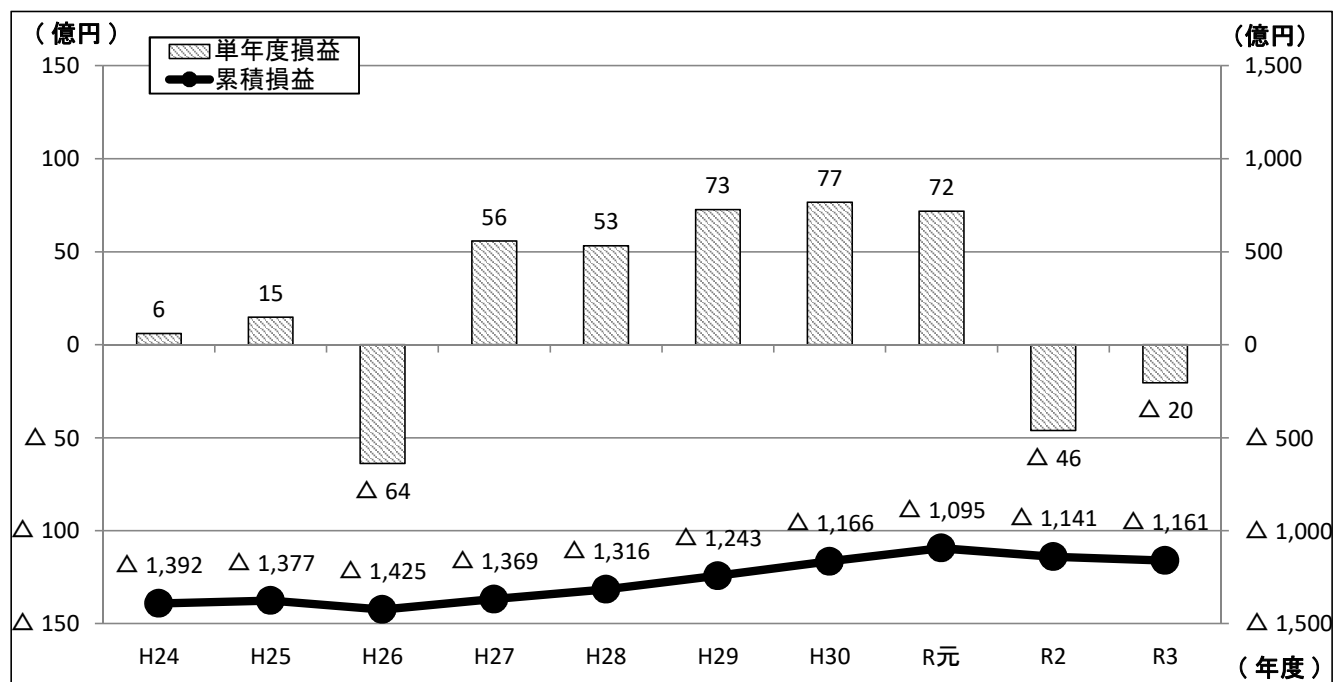
(1) 損益の状況

(単位：百万円、税抜き)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
単年度損益	596	1,483	△6,389	5,581	5,325	7,261	7,656	7,180	△4,611	△2,040
累積損益	△139,190	△137,707	※(1,608) △142,488	△136,907	△131,582	△124,321	△116,665	△109,485	△114,096	△116,136

※()内は、会計制度見直しに伴う調整額

令和元年度までは決算、令和2年度は2月補正後予算、令和3年度は予算案。



(2) 企業債の状況

(単位：百万円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
起債額	10,104	9,279	16,592	10,167	11,000	9,839	14,247	20,816	28,729	27,446
償還額	19,849	17,432	25,127	19,643	20,764	19,621	23,451	33,133	28,792	28,930
年度末現在高	298,735	290,582	282,047	272,571	262,807	253,025	243,821	231,504	231,441	229,957

前年度比	△10,528	△8,153	△8,535	△9,476	△9,764	△9,782	△9,204	△12,317	△63	△1,484
------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	-----	--------

※令和元年度までは決算、令和2年度は2月補正後予算(令和元年度からの繰越を含む)、令和3年度は予算案。

※令和2年度及び令和3年度の起債額には特別減収対策企業債を含む。

Ⅲ. 交通局所管一般会計予算案の内容

(歳 入)

款	項	目	令和3年度 予算額 A	令和2年度 予算額 B	比 較	
					金額 A-B	率 A/B
			千円	千円	千円	%
21. 財産収入	1. 財産運用収入	2. 利子及び配当金	27,734	72,704	△ 44,970	38.1
23. 繰入金	16. 高速鉄道建設基金繰入金	1. 高速鉄道建設基金繰入金	1,509,257	790,000	719,257	191.0
25. 諸収入	13. 雑収入	9. 都市計画費雑収入	206,712	-	206,712	皆増
26. 市債	1. 市債	8. 都市計画債	4,794,000	4,325,000	469,000	110.8
合 計			6,537,703	5,187,704	1,349,999	126.0

(歳 出)

款	項	目	令和3年度 予算額 A	令和2年度 予算額 B	比 較	
					金額 A-B	率 A/B
			千円	千円	千円	%
9. 都市計画費	7. 高速鉄道費	1. 高速鉄道費	10,716,115	9,522,937	1,193,178	112.5
		2. 高速鉄道建設基金積立金	495,967	615,865	△ 119,898	80.5
合 計			11,212,082	10,138,802	1,073,280	110.6

説 明
高速鉄道建設基金から生じる利子収入
高速鉄道事業に対する補助金及び出資金の財源に充当するための基金受入金
高速鉄道事業に対する補助金の返還金
高速鉄道事業に対する補助金及び出資金に充当する起債

説 明	千円		
	3 年度	2 年度	増減
1. 高速鉄道事業に対する補助金	7,407,858	7,022,937	384,921
(23) 繰入金 高速鉄道建設基金受入金	750,000	600,000	150,000
(25) 諸収入 高速鉄道事業費返還金	206,712	-	206,712
(26) 市債 高速鉄道事業債	2,245,000	2,015,000	230,000
2. 高速鉄道事業に対する出資金	3,308,257	2,500,000	808,257
(23) 繰入金 高速鉄道建設基金受入金	759,257	190,000	569,257
(26) 市債 高速鉄道事業債	2,549,000	2,310,000	239,000
1. 高速鉄道建設基金利子収入積立金	27,734	72,704	△ 44,970
(21) 財産収入 高速鉄道建設基金利子収入	27,734	72,704	△ 44,970
2. 高速鉄道建設基金積立金	468,233	543,161	△ 74,928
【令和3年度末基金積立金残高	8,231,226千円】		

【参考資料】 高速鉄道事業会計財務諸表

令和3年度福岡市高速鉄道事業予定貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

資 産 の 部		千円	千円
1. 固定資産			362,649,087
(1) 有形固定資産			362,462,568
土地			28,298,333
建物	97,688,706		
減価償却累計額	△ 69,362,930		28,325,776
線路設備	446,747,480		
減価償却累計額	△ 225,811,417		220,936,063
電路設備	44,291,138		
減価償却累計額	△ 25,450,475		18,840,663
その他構築物	4,082,914		
減価償却累計額	△ 1,696,672		2,386,242
車両	41,663,178		
減価償却累計額	△ 36,518,376		5,144,802
機械装置	34,669,936		
減価償却累計額	△ 26,459,135		8,210,801
工具、器具及び備品	885,673		
減価償却累計額	△ 751,571		134,102
リース資産	135,724		
減価償却累計額	△ 56,323		79,401
建設仮勘定			50,106,385
(2) 無形固定資産			147,693
(3) 投資資産			38,826
2. 流動資産			7,074,810
(1) 現金預金			5,853,849
(2) 未収金			812,200
(3) 貯蔵品			344,546
(4) その他流動資産			64,215
資産合計			<u>369,723,897</u>

負債の部

	千円	千円
3. 固定負債		215,012,876
(1) 企業債		209,312,069
(2) リース債務		52,256
(3) 引当金		
退職給付引当金	5,648,551	<u>5,648,551</u>
4. 流動負債		32,013,486
(1) 企業債		20,645,314
(2) リース債務		27,145
(3) 引当金		
賞与引当金	419,673	419,673
(4) 未払金		7,344,974
(5) 前受金		2,295,506
(6) 預り金		1,270,874
(7) その他流動負債		<u>10,000</u>
5. 繰延収益		91,958,808
(1) 長期前受金	166,821,900	
収益化累計額	<u>△ 97,911,469</u>	68,910,431
(2) 建設仮勘定長期前受金		<u>23,048,377</u>
負債合計		<u><u>338,985,170</u></u>

資本の部

6. 資本金		<u>136,185,367</u>
7. 剰余金		△ 105,446,640
(1) 資本金剰余金		10,689,782
(2) 欠損金		<u>116,136,422</u>
資本合計		<u>30,738,727</u>
負債資本合計		<u><u>369,723,897</u></u>

令和3年度福岡市高速鉄道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	千円
当年度純損失	△ 2,040,523
減価償却費	11,319,098
固定資産除却費	201,113
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 39,458
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 3,782
長期前受金戻入額	△ 3,113,862
受取利息	△ 100
支払利息及び企業債取扱諸費	2,584,909
有形固定資産売却損益 (△は益)	△ 34,613
国庫補助金等の返還による損失	224,916
出資法人の残余財産受贈による利益	△ 290,896
未収金の増減額 (△は増加)	△ 64,567
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△ 6,364
未払金の増減額 (△は減少)	△ 17,287
前受金の増減額 (△は減少)	204,340
預り金の増減額 (△は減少)	29,122
小計	8,952,046
利息の受取額	100
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 2,584,909
業務活動によるキャッシュ・フロー	6,367,237
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△ 15,412,547
固定資産の売却による収入	100,005
国庫補助金等による収入	7,383,874
国庫補助金等の返還による支出	△ 413,424
出資法人の残余財産受贈等による収入	300,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,041,196
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良等企業債による収入	27,446,000
建設改良等企業債の償還による支出	△ 28,929,061
一般会計からの出資による収入	3,308,257
リース債務の支払による支出	△ 32,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,792,522
資金増加額 (又は減少額)	118,563
資金期首残高	5,735,286
資金期末残高	5,853,849

注 記

1 重要な会計方針

1 たな卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く。)

ア 減価償却の方法

- ・車両 定率法
- ・その他 定額法 (ただし、線路設備及び電路設備の取替資産については取替法による。)

イ 主な耐用年数

- ・建物 8～50年
- ・線路設備 15～60年
- ・電路設備 5～45年
- ・車両 13年
- ・機械装置 4～20年

(2) 無形固定資産

- ア 減価償却の方法 定額法

イ 主な耐用年数

- ・地上権 5年

(3) リース資産

- ア 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における全企業職員の退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当(法定福利費を含む。)の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額(翌年度6月に支給予定の期末・勤勉手当における、当年度12月から3月までの期間に相当する分)を計上している。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定キャッシュ・フロー計算書

1 重要な非資金取引の内容

(1) ファイナンス・リース取引による資産の取得

当年度に新たに計上する予定のファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ 15,022 千円である。

3 予定貸借対照表

1 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は令和 4 年 3 月 31 日現在で 31,073,849 千円、令和 3 年 3 月 31 日現在で 35,054,450 千円である。

2 引当金の取崩

(1) 退職給付引当金

退職手当を支給するため、退職給付引当金を令和 3 年度に 250,890 千円、令和 2 年度に 474,260 千円を取り崩す予定である。

(2) 賞与引当金

期末・勤勉手当（法定福利費を含む。）を支給するため、賞与引当金を令和 3 年度に 420,383 千円、令和 2 年度に 403,737 千円を取り崩す予定である。

4 セグメント情報

1 報告セグメントの概要

福岡市高速鉄道事業会計では高速鉄道事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載は省略する。

5 リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

ただし、リース期間が 1 年以内又はリース料総額が 300 万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2 長期継続契約に係るリース債務

負債に計上しているリース債務は、地方自治法第 234 条の 3 に基づく長期継続契約に係るものである。

IV. 交通局組織編成案

令和2年度	令和3年度編成案
<p>交通事業管理者 定数 580人 (管理者を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通局 <ul style="list-style-type: none"> 理事 <ul style="list-style-type: none"> 総務部 83 <ul style="list-style-type: none"> 総務課 36 課長(給与) 【総務企画局人事課長が兼務】 経営企画課 6 財務課 15 営業課 15 広告・駅ナカ事業課 10 運輸部 298 <ul style="list-style-type: none"> 乗客サービス課 128 <ul style="list-style-type: none"> 課長(駅務) 運転課 33 <ul style="list-style-type: none"> 運輸指令 姪浜乗務事務所 114 橋本乗務事務所 22 施設部 154 <ul style="list-style-type: none"> 施設課 20 電気課 27 施設設計課 13 軌道課 5 姪浜保守事務所 23 橋本保守事務所 18 車両課 11 姪浜車両工場 20 橋本車両工場 16 建設部 44 <ul style="list-style-type: none"> 技術課 13 計画課 9 建設課 10 工事事務所 11 <ul style="list-style-type: none"> 課長(沿線調整) 	<p>交通事業管理者 定数 580人 (管理者を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通局 <ul style="list-style-type: none"> 理事 <ul style="list-style-type: none"> 総務部 72 <ul style="list-style-type: none"> 総務課 36 課長(給与) 【総務企画局人事課長が兼務】 経営企画課 5 財務課 14 マーケティング推進室 7 広告・駅ナカ事業課 9 運輸部 306 <ul style="list-style-type: none"> 営業課 13 駅務サービス課 123 運転課 33 <ul style="list-style-type: none"> 運輸指令 姪浜乗務事務所 114 橋本乗務事務所 22 施設部 145 <ul style="list-style-type: none"> 施設課 20 電気課 27 軌道課 5 姪浜保守事務所 23 橋本保守事務所 18 車両課 14 姪浜車両工場 21 橋本車両工場 16 建設部 56 <ul style="list-style-type: none"> 技術課 12 計画課 9 施設設計課 14 建設課 10 工事事務所 10 <ul style="list-style-type: none"> 課長(沿線調整)
<p>一般財団法人 交通事業振興会</p> <p>理事長(交通局理事兼務) 11(3) (かつこ書きの数字は福岡市からの派遣職員で内数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 常務理事 11(3) 管理課 10 (3) <p>※令和2年4月1日現在</p>	<p>一般財団法人 交通事業振興会</p> <p>代表清算人 1(1) (かつこ書きの数字は福岡市からの派遣職員で内数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【交通局総務部長が兼務】 清算人 1(1) <ul style="list-style-type: none"> 【交通局広告・駅ナカ事業課長が兼務】 主査※清算 1(1) <p>凡例 名称変更 新設</p> <p>(※数字の下線は、定数変更を示す。)</p>

V. 条例案の概要

議案第 95 号 福岡市交通事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

福岡市交通事業の設置等に関する条例の一部を改正する 条例案の概要

第 1 改正の理由

車両を更新すること等により一時的に増加する車両数を、第 2 条第 3 項に規定する事業用車両数から除外する必要があるため。

第 2 改正の内容

事業用車両数の算出に当たっては、車両の更新等に伴い一時的に増加する車両数を算入しない旨の規定を、第 2 条第 4 項として新設するもの。

第 3 施行期日

公布の日から施行する。

福岡市交通事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
新旧対照表

【下線部分は改正部分】

現 行	改 正 案
<p>(経営の基本) 第2条 (略) 2 (略) 3 交通事業の事業用車両数は、228両以内とする。 (<u>新設</u>)</p>	<p>(経営の基本) 第2条 (略) 2 (略) 3 交通事業の事業用車両数は、228両以内とする。 4 <u>前項の事業用車両数の計算に当たっては、車両の更新等に伴い一時的に増加する車両数は、算入しない。</u></p>